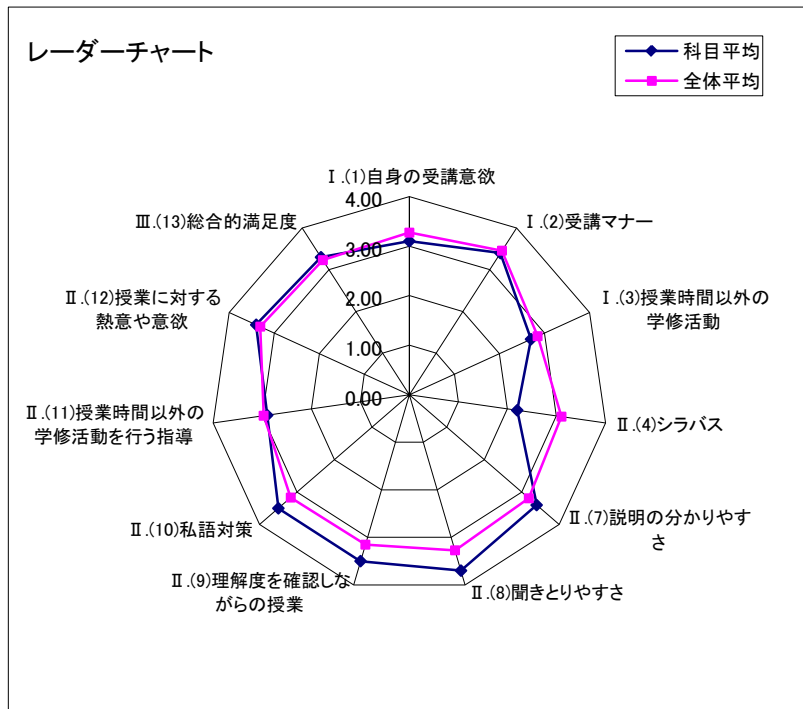
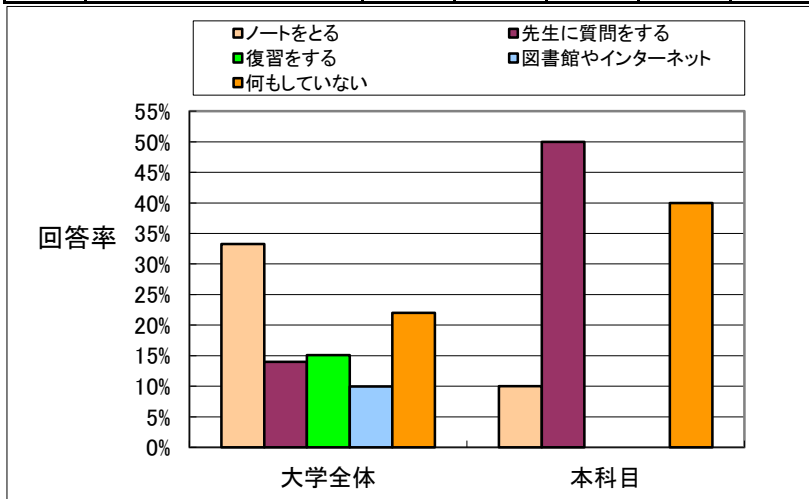


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.10	0.50	0.00	0.00	0.40



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.10	3.27
	I.(2)	3.40	3.46
	I.(3)	2.70	2.85
講義内容・方法	II.(4)	2.20	3.10
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.40	3.19
	II.(8)	3.70	3.27
	II.(9)	3.50	3.15
	II.(10)	3.50	3.17
	II.(11)	2.90	2.97
	II.(12)	3.40	3.31
	総合評価	III.(13)	3.30

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.07	3.19
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.23	3.17
II.(4)~(12)		
総合評価	3.30	3.23
III.(13)		

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2013年度 前期
時間割番号	4133
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

学部で実施する統一テストでの合格を到達目標としている。授業内容としては、教科書を数学の内容単元別に再編集したプリントを作成し、計画に沿って試験範囲までを終了した。ただし、授業を受ける以前の学生の前提知識が、個人によって異なるため、間違いの質に応じた個別指導が必要であるが、様々な制約のもとで、十分な個別指導の時間を個人に対して確保することに困難を感じている。

②授業の進め方について

授業は必修課題のプリント学習を中心に、個別指導を重視した。プリント1枚ごとに正誤を採点して、間違っ箇所を「やりなしシート」に記録していった。アンケートでも、授業の進め方についての項目(設問7, 8, 9, 10)では、一定の評価を学生もしているようである。ただし、「基礎数学Ⅱ」の場合には、漠然とした理解では、正確な問題解決を要求する試験には対応できない。したがって、この科目を学習する意味を理解したうえで、自宅学習をする必要があるのだが、そこまでの意識改革を限られた授業時間で実現することに困難を感じている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

アンケート結果の全体を見渡すと、設問4のシラバスに沿った授業進行の点でマイナスの指摘ながされている。15回の全体としては、シラバスに沿った内容となることを、十分に説明する必要があるようだ。この授業を実施するうえでの問題点については、上記①、②の欄に記述した通りであるが、最終的な合格者が少数であったことが、次年度に向けての最大の課題である。